

新エネルギー・環境政策課では、高知市の清潔なまちのシンボルである鏡川の美しい景観や自然環境を保全するため、鏡川流域の自然と人、人と人との関わりとつながり(鏡川流域パートナーシップ)の拡大を目指しています。「鏡川流域パートナーシップだより」では、鏡川流域パートナーシップ推進に向けたさまざまな取組を楽しく紹介します！

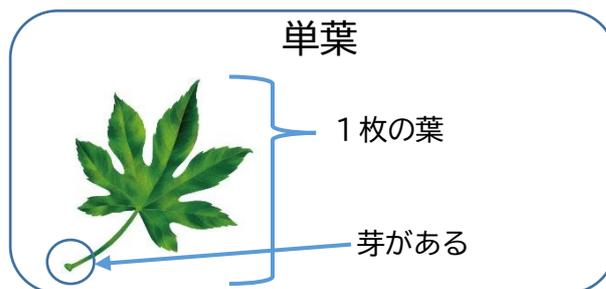
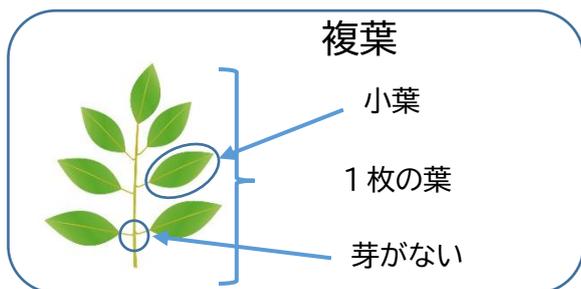
かぶれる木の見分け方や触った際の対処方法を覚えよう！

今回の「鏡川流域パートナーシップだより」はインターンシップ生の小杉(高知大学農林海洋科学部3回生)が担当させていただきます！山登りの際にはもちろん気を付ける必要がありますが、かぶれる植物は町中でも生えていることがあるため、日常にも気を付ける必要があります。今回は、そのようなかぶれる植物を触らないために見分ける方法とかぶれてしまった場合の対処法について説明していきます。

かぶれる植物の特徴はどのようなものがある？

かぶれる木にはヤマウルシ、ウルシ、ハギ、ヌルデなどがあり、そのほとんどは羽状複葉となっています。複葉とは、小葉という小さな葉が集まって一枚の葉となっているものであり、羽状複葉はその中でも中央の1本の軸の左右に小葉が並んでいるもののことです。また、複葉ではない一般的なものを単葉といいます。かぶれる植物に複葉が多いことはわかっていただけだと思います。しかし、単葉と複葉はわかりやすい違いはなく、ここまでの説明では見分けることができません。

単葉と複葉の見分け方は、葉と枝の間に芽があるかというものであり、複葉には芽がありません！



かぶれた際の対処法

かぶれる原因となる植物に触ってしまった場合にはすぐに石鹸で丁寧に洗うことが大切です。また、赤み、ぶつぶつ、かゆみなどの症状が出た場合にはステロイド外用剤を用いて炎症を抑えましょう。通常は2～3日で治ります。もし、症状が重く、ただれややけどのような水がぶくれができた場合は病院を受診するようにしましょう。

日常的に見かけると思われるイチヨウも、今回説明した特徴にはあてはまりませんが、かぶれる植物です。このように、身近な植物や今回紹介した特徴とは異なる植物にも、危険なものは存在するので、ぜひネットなどで調べてみてください。また、「Biome」というアプリを利用すると種の同定が可能なので、ぜひ利用して危険を回避してください！



「Biome」を使って植物を調査しました！

まちのコイン「ぼっちり」を使ってクイズを作成しました！
今回説明した内容や高知市に関するクイズになっているのでぜひ挑戦してみてください！



★ぼっちりクイズNo.10★ 全問正解者に100ぼっちりプレゼント♪

●+100 もらう



鏡川流域関係人口のつながりを可視化し、循環を促進するために、スマホアプリ「まちのコイン」を導入しました。高知市のコイン名称は「ぼっちり」です。鏡川がつなぐ山、川、海、人のたくさんの「ちょうどいい」関わりを未来へと繋いでいきたいという意味が込められています。ユーザー、スポット募集中です！

※「ぼっちり」の詳細については、こちらをご覧ください。

<http://cms4.city.kochi.kochi.jp/soshiki/186/machinocoin.html>

「まちのコイン」のインストール



iPhone



Android